



## 名勝・重要文化的景観「おばすて(田毎の月)」棚田の保全活動

助成区分

植樹

環境保全

調査・研究

教育・啓蒙

実施状況

延べ参加者数 **611人**

参加者満足度

**100%**

活動の全体目標に対する達成度

**100%**

### 活動目的

- ・荒廃した棚田の復元と保全活動
- ・美しい棚田とすばらしい景観を後世に受け継ぐ
- ・多くの子供たちやその家族が参加する体験活動の実施

### 活動内容

3月; 苗の手配、4月; 耕うん作業、水路の整備、畦パネルの修復、草刈り作業、  
5月; 取水・排水口の整備、肥料散布、水入れ、代かき作業、草刈り作業①、農業機械の点検、苗の運搬、  
田植え作業(小学生と保護者も多く参加)、  
6月; 水の管理(毎日交代で管理)、植え直し、草刈り作業②、  
7月; 水の管理、田の中の草取り、草刈り作業③、棚田等現地視察研修会に参加、  
8月; 水管理、草刈り作業④、地域の関係者との交流会、  
9月; 草刈り作業⑤、水切り、排水路整備、ワラづくり、稲刈りとはぜ掛け作業(小学生と保護者も多く参加)、  
10月; 脱穀作業、はぜの片づけ、ワラの処理、11月; 耕うん作業、収穫祭

### 成果

#### <田植え作業>

- ・2018年5月実施の作業に、子供14名、保護者6名参加  
➡ 2019年5月実施の作業に、子供53名、保護者16名参加
- ・泥だらけの田植え、水路や畦など棚田での自然体験やすばらしい景観を体験する。

#### <稲刈り・束ねる・運搬・はぜ掛け作業>

- ・2018年9月実施の作業に、子供36名、保護者15名参加  
➡ 2019年9月実施の作業に、子供52名、保護者17名参加
- ・稲刈りでは、刈り取り・束ね・稲束の運搬・はぜ掛け・落穂拾いなどのたくさんの仕事を体験する。

### 工夫した点

- ・田毎の月棚田保存同好会長名で、3か所の小学校長宛に、「稲刈り体験お誘いの文書配布についてお願い」を文書で依頼する。
- ・また、低学年の児童及び保護者宛には「おばすて(田毎の月)棚田での体験活動へのお誘い」の通知文を発送する。

### 今後の課題

- ・当同好会は、2018年で創立25年目を迎えます。
- ・棚田保全で最も重要なことは「耕作の継続」です。当同好会は、会員の高齢化などの事情もありますが、今後も保全活動を継続していきます。
- ・当同好会のテーマは「明るく・楽しく・無理なく・安全第一」です。この四つのテーマをいつも大切にして活動しています。